

事務事業名	総合運動公園管理事業				担当	教育委員会 スポーツ振興課 管理係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名	V-7 スポーツによるもおが創生の推進	
施策名	4	生涯スポーツ・レクリエーションの振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	真岡市運動場設置、管理及び使用条例					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成26年度～）	
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	5. 保健体育費	2. 体育施設費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	スポーツ団体や、多くの市民からの強い要請を受け、小林地区が選定され平成8年度から土地の取得を開始した。平成23年6月に全体基本計画書が完成。最終的には、東京ドーム6個分、26.6ヘクタールの敷地に様々なスポーツ施設等を整備する計画になっている。平成24年2月より北ブロック第1期工事着手。平成26年6月に陸上競技場兼サッカー場が供用開始となる。県・郡・市内の陸上大会、サッカー大会、ゴルフ大会等が開催されている。平成28年度に、多目的広場・子ども広場及び健康広場・相撲場を供用開始。平成29年度は弓道場とクラブハウス、平成30年度にテニスコートと乗り物エリアを供用開始した。平成31年度から南ブロック整備に着手する。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 ・総合運動公園隣接地駐車場工事 ・弓道場・クラブハウス備品購入・施設の整備、設備の保守点検を実施 ・施設管理業務委託（クラブハウス人員配置） ・テニスコート備品購入・陸上競技場改修工事（第4種公認継続） ・管理棟増築（更衣室）に伴う備品購入 ・総合運動公園隣接地駐車場工事（繰越明許）  31年度計画 ・施設の整備、設備の保守点検を実施 ・浄化槽保守点検、自家用電気工作物保守点検 ・南ブロック整備 ・用地買収等	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	施設及び管理物品等の修繕	箇所	10	17	11	30	25
	イ	保守点検	箇所	3	4	9	9	12
	ウ							
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 運動施設等 ・総合運動公園陸上競技場兼サッカー場 ・多目的広場・子ども広場・健康広場・相撲場・弓道場・クラブハウス ・テニスコート・乗り物エリア	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	施設数	箇所	1	5	7	9	9
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 運動施設の整備修繕を行い、良好な施設環境を提供する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	利用人数	人	14,570	24,926	30,245	36,181	38,000
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） スポーツ、レクリエーションの振興	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	スポーツレクリエーションをしている市民の割合	%	47.3	60.7	59.3	58.5	
	イ							
	ウ							
エ								
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	16,168	56,168	37,944	15,577
	一般財源	千円	37,325	23,930	91,621	57,478	
	事業費計(A)	千円	53,493	80,098	129,565	73,055	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	2,299	2,290	2,309	2,318
		人件費計(B)	千円	9,633	9,510	9,582	9,664
トータルコスト(A)+(B)		千円	63,126	89,608	139,147	82,719	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	スポーツ団体や、多くの市民からの強い要請を受け、小林地区が選定され平成8年度から土地の取得を開始した。平成23年6月に全体基本計画書が完成。最終的には、東京ドーム6個分、26.6ヘクタールの敷地に様々なスポーツ施設等を整備する計画になっている。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成26年6月より陸上競技場兼サッカー場を供用開始したが、利用人数は着実に増えてきている。平成28年度には、多目的広場を供用開始したが、サッカーでの利用が多い。平成29年度は、弓道場とクラブハウスを供用開始した。平成30年度は、テニスコートと乗り物エリアを供用開始した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・議会から、第3種公認競技場にしてほしいとの要望があった。 ・多目的広場について、サッカー関係者より人工芝にしてほしい旨の要望があった。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 「市民ひとり1スポーツ」を目標にした生涯スポーツ・リクリエーションの振興を図る政策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市が設置した施設であり、維持管理は市の義務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 運動施設の整備・修繕を行い、良好な施設環境を提供するためであり、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 定期的な施設の保守点検及び必要な修繕等は適宜実施、良好に維持管理している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 良好な管理運営ができなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 類似事業はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 施設の維持管理上必要不可欠な事業であり、削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 施設を維持管理するための、必要最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 利用者から、施設の使用料を徴収している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							